SNSで知り合った女の子に
鹿島のコスプレさせてみたら・・・
じゃあ、そこで全裸になって
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

Kashima

先日、SNSで知り合った女の子と仲良くなった。
仲良くなったと言っても 付き合っている訳ではなく、当然、肉体関係などはない。
ただ、彼女はかなり自分好みのタイプだったので、
もちろんそういった進展を期待していないと言えばウソになる。
それに、顔がどことなくオレの好きな「艦これの鹿島」に似ていたのだ。
そう思うと、どうしても彼女に鹿島のコスプレをさせてみたくて

ある日、思い切ってダメ元で頼んでみた。
鹿島の衣装でコスプレした姿で
写真を撮らせてくれないか？と。

はじめは断られたが、しつこく何度も頼み込んでいると
「恥ずかしいから一対一でフォトスタジオでならいいよ」
という条件でどうにか引き受けてくれる事になった。

衣装はこちらで用意する約束だったので、
あらかじめ通販で購入。

そして後日、鹿島の衣装を持って
彼女と待ち合わせをし
スタジオへ向かう事になった。

彼女はスタジオへ着くなり、
早速鹿島のコスチュームに着替えてくれた。

「着替えたけど、こんな感じ?」

そこにいたのは想像以上に鹿島にそっくりな彼女がいた。

「か、かわいい・・・」

しばらく目が釘付けになってしまうほど想像以上にそっくりだった。

「なんか私ばかり着替えて恥ずかしいんだけど?」

「え、と言っても他の衣装は持ってきてないし(汗)」

「じゃぁ、そこで全裸になってよ」

「え?!全裸?それはさすがに・・・」

「全裸になってくれたら、二人きりだし
後で下着姿も撮影させてもいいよ」

「ほんと?!」

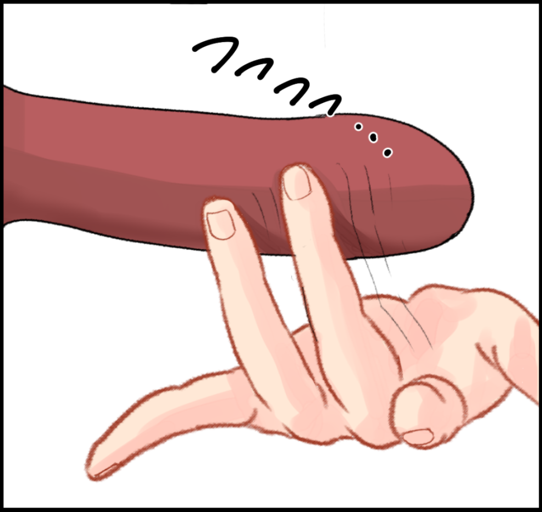
イマイチよくわからない理由だが、

「もしかして・・・」

という下心が出てしまい、
言われるがままに服を脱ぎ始めてしまった。
そして、激しくドキドキしながら
興奮している自分に気がついた・・・

「本当に脱いでくれたんだ・・・」
そう言うと彼女は自分の鞄の中から
縄を取り出してきた。
「これであなたの手を縛るね・・・」
「え?」
手際よく手を後ろに回され、
あっという間に両手両足が縄で縛られて
まったく身動きがとれなくなった。
「これでよし、っと。
じゃあ、記念撮影しておくね」
彼女はスマホで全裸になった僕を撮影した。
「え、ちょっと!・・・」
「オチンポ丸出しの恥しい写真が撮れた。」
「前々から男の人で試してみたい事が
あったんだよねー」
「試してみたいって何ですか?・・・」
「男の人がエッチな状況の中で
どれだけ射精を我慢できるのか・・・」

「しゃ、射精ガマンですか?!」
「そう、もしガマンできずに
すぐに射精してしまったら
さっきの全裸写真と、
精子まみれの写真も撮影して
ネットに流しちゃうかも?」
「そんなの絶対にやめてください!」
「ガマンできればイイだけのこと」
「ところで、何コレ?
なんでこんなに立ってるの?」
覗き込むように見つめながら言う。
「裸になって手を拘束されただけで
興奮しちゃってるの?」
そう言うと彼女は、
突然柔らかい指先で
裏スジをフェザータッチしてきた。
「うわ、ちょっと触っただけなのに
オ○ンポが
すっごい、ビックン、ビックン
はねちゃってる・・フフフ」
彼女は面白がるように
指先を何度も裏スジを往復させてくる
「まだ何もしていないのに
いつの間にか先っぽから
透明な液まで出てきちゃってるし」



「知ってるよ。
キミがMだってこと・・・」
「あら？ そう言っただけでも、また少し大きくなった？
もうすっごい上向きでカッチカチになってるよ・・・」
「そんな今さらジタバタしたって、両手は後ろで拘束されて
いるんだから動けませんよ。」
知ってるよ
キミがMだってこと
「ほら・・・ここをこうやって」(ギュ・・・)
彼女が柔らかい手でいきなりオチンポを
ギュっと握ってくる
「はあっ・・・・・」
思わず、声にならない息がもれてしまった。
ギュッ・・・

次々と女の子に
弄ばれていくあなた

ここからは
本気モードで
いくから
続きは製品版で
お楽しみください

STUDIO
ぺるくらっぺ